

東日本大震災以前

		全体	家族・親 戚に相談 していた	友人・知 人に相談 していた	職場の上 司、学校 の先生に 相談して いた	公的な機 関の相 談窓口 （電話等 での相談 を含む） を利用し ていた	民間の相 談機関相 談窓口 （電話等 での相談 を含む） を利用し ていた	病院・診 療所の 医師に相 談してい た	テレビ、 ラジオ、 新聞等の 相談コー ナーを利 用してい た	その他 （職場の 相談窓 口等）で 相談して いた	相談した いが誰に も相談で きないで いた	相談した いが、ど こに相談 したらよ いかわか らなかつ た	相談する 必要はな いので誰 にも相談 していな かった
全体		977	240	218	38	20	8	69	0	6	126	39	213
		100.0	24.6	22.3	3.9	2.0	0.8	7.1	0.0	0.6	12.9	4.0	21.8
居住 地域	被災 3 県	791	193	176	27	16	7	53	0	5	101	33	180
		100.0	24.4	22.3	3.4	2.0	0.9	6.7	0.0	0.6	12.8	4.2	22.8
	その他 地域	186	47	42	11	4	1	16	0	1	25	6	33
		100.0	25.3	22.6	5.9	2.2	0.5	8.6	0.0	0.5	13.4	3.2	17.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

東日本大震災時

		全体	家族・親 戚に相 談してい た	友人・知 人に相 談してい た	職場の 上司、学 校の先 生に相 談してい た	公的な 機関の 相談窓 口(電話 等での 相談を 含む)を 利用し ていた	民間の 相談機 関の相 談窓口 (電話等 での相 談を含 む)を利 用してい た	病院・診 療所の 医師に 相談して いた	テレビ、 ラジオ、 新聞等 の相談コ ーナーを 利用して いた	その他 (職場の 相談窓 口等)で 相談して いた	相談した いが誰 にも相談 できない でいた	相談した いが、ど こに相談 したらよ いかわか らなかつ た	相談する 必要 はない ので誰 にも相談 していな かった
全体		1945	547	360	71	48	10	77	11	25	208	128	460
		100.0	28.1	18.5	3.7	2.5	0.5	4.0	0.6	1.3	10.7	6.6	23.7
居住 地域	被災	1672	471	303	58	41	8	63	11	24	175	120	398
	3 県	100.0	28.2	18.1	3.5	2.5	0.5	3.8	0.7	1.4	10.5	7.2	23.8
	その他	273	76	57	13	7	2	14	0	1	33	8	62
	地域	100.0	27.8	20.9	4.8	2.6	0.7	5.1	0.0	0.4	12.1	2.9	22.7

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

現在

		全体	家族・親戚に相談していた	友人・知人に相談していた	職場の上 司、学校の先生に相談していた	公的な機関の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用していた	民間の相談機関の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用していた	病院・診療所の医師に相談していた	テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用していた	その他（職場の相談窓口等）で相談していた	相談した いが、どこに相談したらよ いかわからなかった	相談する 必要はないので誰にも相談してい なかつた	
全体		1435	376	253	34	46	16	68	2	17	197	88	338
		100.0	26.2	17.6	2.4	3.2	1.1	4.7	0.1	1.2	13.7	6.1	23.6
居住地域	被災	1203	313	210	24	40	14	61	2	15	161	79	284
	3 県	100.0	26.0	17.5	2.0	3.3	1.2	5.1	0.2	1.2	13.4	6.6	23.6
	その他	232	63	43	10	6	2	7	0	2	36	9	54
	地域	100.0	27.2	18.5	4.3	2.6	0.9	3.0	0.0	0.9	15.5	3.9	23.3

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

9. 感情の状態

震災前、震災直後、現在の各時点において、以下のどの感情が近いか・近かったかについて尋ねました（複数回答）。震災以前と比べて、震災時には被災 3 県で、「神経過敏である」、「絶望感を感じる」、「そわそわ落ち着かなく感じる」、「気分が沈み込んで何が起こっていても気が晴れないように感じる」という項目で割合が大きく増加していました。他方、その他地域でも増加の割合は小さいが同じ回答項目での割合が増加していました。現在について見てみると、震災後 3 年を経てこれらの感情について大きく改善したといえますが、被災 3 県については震災以前と比べるとまだ高い割合となっています。

東日本大震災以前

		全体	神経が過敏である	絶望感を感じる	そろそろ、落ち着かなく感じる	気分が沈み込んで、何が起こっていても気が晴れないように感じる	何をしても骨折りだと感じる	自分は価値のない人間だと感じる	この中にあてはまるものはない
全体		3119	102	39	33	138	62	119	2626
		100.0	3.3	1.3	1.1	4.4	2.0	3.8	84.2
居住地域	被災3県	2339	76	31	25	109	48	89	1961
		100.0	3.2	1.3	1.1	4.7	2.1	3.8	83.8
	その他地域	780	26	8	8	29	14	30	665
		100.0	3.3	1.0	1.0	3.7	1.8	3.8	85.3

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

東日本大震災時

		全体	神経が過敏である	絶望感を感じる	そろそろ、落ち着かなく感じる	気分が沈み込んで、何が起こっていても気が晴れないように感じる	何をしても骨折りだと感じる	自分は価値のない人間だと感じる	この中にあてはまるものはない
全体		3119	444	318	353	408	69	98	1429
		100.0	14.2	10.2	11.3	13.1	2.2	3.1	45.8
居住地域	被災3県	2339	370	287	275	341	54	73	939
		100.0	15.8	12.3	11.8	14.6	2.3	3.1	40.1
	その他地域	780	74	31	78	67	15	25	490
		100.0	9.5	4.0	10.0	8.6	1.9	3.2	62.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

現在

		全体	神経が過敏である	絶望感を感じる	それぞれ、落ち着かなく感じる	気分が沈み込んで、何が起こっていても気が晴れないように感じる	何をしても骨折りだと感じる	自分は価値のない人間だと感じる	この中にはまるものはない
全体		3119	237	89	75	222	123	174	2199
		100.0	7.6	2.9	2.4	7.1	3.9	5.6	70.5
居住地域	被災3県	2339	193	78	53	194	104	131	1586
		100.0	8.3	3.3	2.3	8.3	4.4	5.6	67.8
	その他地域	780	44	11	22	28	19	43	613
		100.0	5.6	1.4	2.8	3.6	2.4	5.5	78.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

10. 飲酒、たばこ、公営ギャンブル、パチンコ・パチスロの頻度

飲酒、たばこ、公営ギャンブル（競輪・競馬など）、パチンコ・パチスロについて、震災前と現在の頻度について尋ねました。被災3県についてはたばこの頻度が若干増加した程度で、飲酒、公営ギャンブル、パチンコ・パチスロの頻度は減少しています。また、その他地域にも同じような傾向が見られました。たばこの頻度が増加したのは、2010 年秋のたばこ税増税によって抑制していた人の行動が、元に戻ったという仮説が考えられますが、この点については今後精査が必要です。

東日本大震災以前

飲酒

		全体	全くしていなかった	たまにしていた	よくしていた	ほぼ毎日していた
全体		3011	979	1198	395	439
		100.0	32.5	39.8	13.1	14.6
居住地域	被災3県	2262	709	926	292	335
		100.0	31.3	40.9	12.9	14.8
	その他地域	749	270	272	103	104
		100.0	36.0	36.3	13.8	13.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

たばこ

		全体	全くしていなかった	たまにしていた	よくしていた	ほぼ毎日していた
全体		3011	2233	127	138	513
		100.0	74.2	4.2	4.6	17.0
居住地域	被災 3 県	2262	1654	102	113	393
		100.0	73.1	4.5	5.0	17.4
	その他 地域	749	579	25	25	120
		100.0	77.3	3.3	3.3	16.0

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

公営ギャンブル（競輪、競馬など）

		全体	全くしていなかった	たまにしていた	よくしていた	ほぼ毎日していた
全体		3011	2621	282	82	26
		100.0	87.0	9.4	2.7	0.9
居住地域	被災 3 県	2262	1983	200	59	20
		100.0	87.7	8.8	2.6	0.9
	その他 地域	749	638	82	23	6
		100.0	85.2	10.9	3.1	0.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

パチンコ・パチスロ

		全体	全くしていなかった	たまにしていた	よくしていた	ほぼ毎日していた
全体		3011	2527	340	118	26
		100.0	83.9	11.3	3.9	0.9
居住地域	被災 3 県	2262	1892	260	90	20
		100.0	83.6	11.5	4.0	0.9
	その他 地域	749	635	80	28	6
		100.0	84.8	10.7	3.7	0.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

現在

飲酒

		全体	全くして ない	たまにす る	よくする	ほぼ毎日 する
全体		3119	1038	1256	355	470
		100.0	33.3	40.3	11.4	15.1
居住 地域	被災 3 県	2339	762	956	253	368
		100.0	32.6	40.9	10.8	15.7
	その他 地域	780	276	300	102	102
		100.0	35.4	38.5	13.1	13.1

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

たばこ

		全体	全くして ない	たまにす る	よくする	ほぼ毎日 する
全体		3119	2426	103	114	476
		100.0	77.8	3.3	3.7	15.3
居住 地域	被災 3 県	2339	1807	73	96	363
		100.0	77.3	3.1	4.1	15.5
	その他 地域	780	619	30	18	113
		100.0	79.4	3.8	2.3	14.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

公営ギャンブル（競輪、競馬など）

		全体	全くして ない	たまにす る	よくする	ほぼ毎日 する
全体		3119	2772	252	79	16
		100.0	88.9	8.1	2.5	0.5
居住 地域	被災 3 県	2339	2098	176	53	12
		100.0	89.7	7.5	2.3	0.5
	その他 地域	780	674	76	26	4
		100.0	86.4	9.7	3.3	0.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

		全体	全くして ない	たまに する	よく する	ほぼ毎日 する
全体		3119	2724	291	83	21
		100.0	87.3	9.3	2.7	0.7
居住地 地域	被災	2339	2030	231	61	17
	3 県	100.0	86.8	9.9	2.6	0.7
	その他	780	694	60	22	4
	地域	100.0	89.0	7.7	2.8	0.5

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

・まとめ

本稿では東日本大震災から3年というタイミングで行ったアンケート調査について、居住地域別の分析を行ってきた。その結果わかったことは、東日本大震災は被災3県の人に対して大きな影響を与えただけでなく、その地域の人にとっても幅広く影響があったことが分かりました。これまで多くの既往研究が、被災地に焦点を当てたものが多くありましたが、本アンケート調査では居住地別の分析を行ったことで、震災後の影響について被災地特有の現象と、全国的な現象とに分けて示すことができたことは意味があったものと考えています。

本研究プロジェクトでは、被災地域のみを対象として調査するのではなく、被災地とそれ以外の地域との比較をすることで、震災前後の変化が被災地に限定されたものであったのか、あるいは全国的なものであったのかを明らかにすることが重要なタスクのひとつでしたから、本アンケート調査の結果は、そのタスクを解決するための重要なファクターになります。

厚生労働科学研究費補助金

(政策科学総合研究事業 (統計情報総合研究))

(課題番号) H24-統計-一般-007

『東日本大震災等による医療・保健分野の統計調査の影響に関する高度分析と
評価・推計』平成24年度～25年度 総合研究報告書

2014年3月発行

発行元：東北大学大学院経済学研究科 吉田浩研究室

〒980-8579 仙台市青葉区川内 27-1

Tel: 022-795-6292

E-mail: hyoshida@econ.tohoku.ac.jp

<http://www.econ.tohoku.ac.jp/hyoshida>

(無断転載禁止)

